

キャン ドウ

# CanDo アフリカ

特定非営利活動法人アフリカ地域開発市民の会(CanDo)会報 2015年12月[第73号]



活動の方向性 マラウイ共和国での事業形成に向けて  
ナイロビ便り ローマ法王のケニア訪問

永岡 宏昌  
佐久間典子

活動報告 図解—教室建設の工程  
施設拡充—教室建設・構造補修・基礎保全のための土留壁造り—の現況

フォトレポート マラウイ調査で見たもの・食べたもの  
事務局から

上の写真: マラウイ共和国ブランタイヤ市。線路横の食堂街。



下の写真: インターネット接続用のモデム。携帯電話のネットワークがあるところで、スピードは遅いながら接続してメールの送受信ができる。真ん中がサファリコム社。下がエアテル社のもので、ケニアでもマラウイでも、SIM を入れ替えるだけで使える。上が、最近、スタッフが見つけてくれた「SIM フリー」のモデムで、通信会社に縛られないタイプ。マラウイでも使える。

## マラウイ共和国での事業形成に向けて

代表理事 永岡 宏昌

1998年に当会を設立した際に、団体名に「ケニア」を入れず「『アフリカ』地域開発市民の会」としたのは、将来はアフリカの他の国でも地域の社会開発に貢献する団体になりたい、との思いからでした。それから年月が経過し、ケニアでの事業実施を通して、住民が自ら規定する「豊かさ」を自ら達成するための、学校地域社会での住民参加・能力向上・自律の視点や協力手法などを培ってきました。もっと必要とされる状況にある国・地域でそれらを活用して、社会開発事業を実施したいと考えるようになりました。対象国と考えているのが、南部アフリカの内陸国のマラウイで、約1,600万人の国民の8割近くが小規模農家という農業国です。後発開発途上国に分類され、ひとりあたり国民総所得は320米ドルにとどまります。ケニアの860米ドルと比べても、顕著に少ない貧困国です。本年2回の予備調査を実施しました。今回の11月中旬～12月上旬の調査では、政府発表の統合家計調査\*の中で、貧困人口の割合が全国平均より多い3県を訪問しました。そして、うち2県について、当会事業を形成する可能性がある、と考えました。2県の県教育局長に、それぞれケニアでの事業実施の経験を説明したところ、自律的な住民参加に関心を示しました。当会の経験は活用可

能で住民参加は必要、とのことで、私の小学校訪問に協力していただきました。2県6教育区の15校で、主に校長から学校地域社会の様子について聞き、教室の状態や授業の様子を見学することができました。

どこの学校も子どもが多く、教室があっても、低学年は机を入れる余裕がなくて床に座っての授業、中途退学により人数が少なくなる高学年になって机が入る状態でした。青空教室も数多くあります。このような状況の中で、住民が自律的に教室建設を行なっている学校もあります。中には、レンガ造りの本格的な教室もあり、住民が資金を出し合ってトタンを買ったり、職人を雇用したりしている学校もありました。また、校長が村々のチーフと話し合って農地を借りると、県教育局が種子と肥料を供与して、住民が農作業・収穫・製粉を行ない、順番に学校に来てお粥を調理する、という給食がいくつかの学校で行なわれていました。学校側は、ケニア以上に明確に、学校と地域との関わりについて意識している印象でした。次回の調査では、村のチーフや住民などにも、小学校との関わりについて聞いてみたいと思います。

\* Republic of Malawi, "Integrated Household Survey 2010-2011", National Statistical Office, 2012.

## ナイロビ便り

### ローマ法王のケニア訪問

佐久間 典子

11月25日から27日、ローマ・カトリック教会のフランシスコ法王(教皇)\*がケニア訪問を訪問しました。今回は日本で情報を集めた「ナイロビ便り」です。

11月25日、ローマ法王は、キリスト教徒とイスラム教徒の融和を訴えたい、という考えで、ケニア、ウガンダ、中央アフリカの3か国訪問に出発。25日、夕方、最初の訪問国、ケニアの首都ナイロビに専用機で到着し、ケニヤッタ大統領夫妻らに迎えられました。その後、法王は大統領府でケニヤッタ大統領との会談に臨みました。

26日、法王はナイロビ大学で大規模なミサを開きました。男性の高慢さ、そして、女性や幼い命を傷つけ、おびやかす行為への抵抗を訴えました。その後、イスラム教を含む各宗教指導者らと会談。若い人たちが宗教という名のもとで、不和を引き起こし、恐怖を広げるために、行動させられていることを懸念しました。

26日、国連環境計画(UNEP)本部を訪問。フランス・パリで開かれる、気候変動枠組み条約第21回締約国会議(COP21)を前に、特定の利益が人々の共通の利益に勝ること、企業のために会議が操作されることを懸念。失敗となれば「破滅的」と語りました。

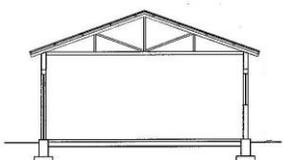
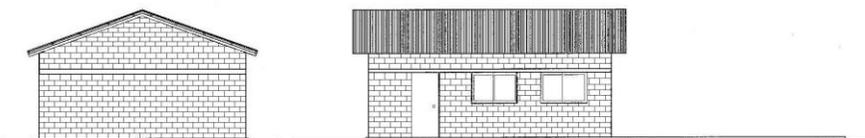
27日、ナイロビのスラムのひとつ、カンゲミ地区を訪問。子どもから老人まで、多くの住民に迎えられ、労働者聖ヨセフ教会で住民と話しました。際限のない消費により豊かな社会が忘れた、真の価値を貧しい人々が持っていて、病んでいる人への支援、食べ物の分かち合い、といった連帯している「知恵」について触れました。劣悪なスラムの環境に対しては、基本的人権の保証を、犯罪組織が若者たちを取り込む危険については、より受容性のある社会の構築、教育の充実などを訴えました。そして、ヨハネ・パウロ2世(在位1978年～2005年)が指摘した、アフリカの新しい植民地支配の形である搾取のメカニズムへの注意を促しました。

法王はナイロビでの移動では、高級車ではなく、ホンダの小型車を要望。後の席の窓を開け、沿道の人々に手を上げて応えて、市民からの喝采浴びました。報道によると、車の値段は150万シリング(約180万円)。

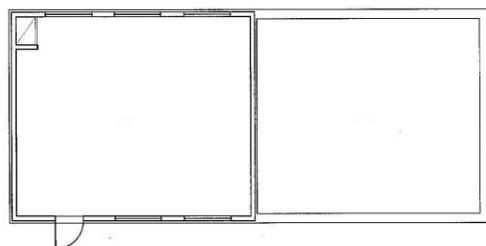
\* 日本のカトリック教会の公式な表記では、「教皇」が用いられています。フランシスコ法王(在位2013年～)は、アルゼンチン出身。ヨーロッパ以外出身の先例は、シリア出身のグレゴリウス3世(在位731年～741年)までさかのぼります。

出典：朝日新聞、毎日新聞、日本経済新聞、東京新聞、パチカン放送局、ライター、CNN、TBS News、レスポンス、ウィキペディア

## 活動報告 図解—教室建設の工程



1 教室 1 基礎



教室(生徒数 40 人)のサイズは  
幅 約 7.6m × 奥行 約 6.5m  
高さ 約 4m

### ■保護者が用意: 現地調達可能な資材

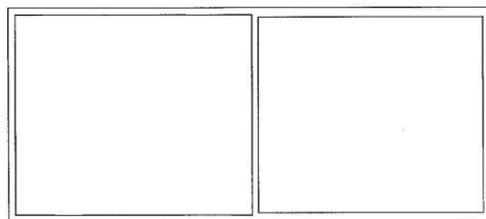
- ・砂—17トン(一輪車 300 杯)
- ・砂利—10トン(一輪車 204 杯)
- ・焼成レンガ—6324 個
- ・水—9200 リットル

### ■CanDo が供与: 外部資材

- ・セメント—50kg 入り×113 袋
- ・鉄筋—41 本
- ・トタン—44 枚
- ・木材
- ・窓枠—5 組
- ・ドア枠・扉—1 組
- ・黒板用塗料—2 リットル

### ■工程

1. 基礎のための溝掘り…1 教室+1 基礎
2. 鉄筋を配置…1 教室+1 基礎
3. 基礎のコンクリート固め  
…1 教室+1 基礎



溝に(土壌に懸念がある場合は鉄筋を配し)コンクリートを流す。

4. 基礎壁を設置…1 教室+1 基礎

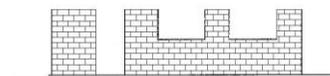
 コンクリートの上に、2 列のレンガを組ませて作る。

5. 壁を設置していく…1 教室

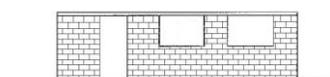
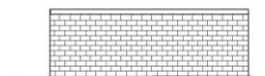


 基礎壁の上に、レンガを 1 列に積んでいく。

6. ドアと窓の場所をあけて壁を設置  
…1 教室

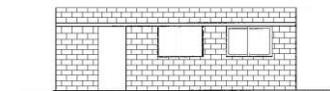


7. リングビームを設置…1 教室

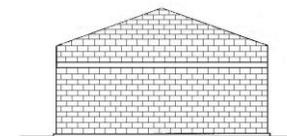


リングビームは上部の横材。  
壁の上部を 2 本の木材ではさんで、四面の壁に「口」の字に組み、鉄筋を配して、コンクリートを流す。固まったら、木を外す。

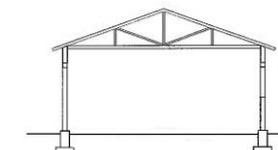
8. リングビーム上の壁を設置…1 教室



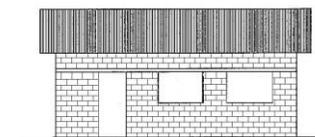
9. 山形の部分の壁を設置…1 教室



10. 木材で屋根を組む…1 教室



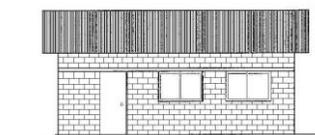
11. トタンで屋根をふく…1 教室



12. 床を設置…1 教室+1 基礎

 コンクリートを流す。

13. ドアと窓を入れる…1 教室



14. 壁に塗料を塗り、黒板を作る…1 教室

15. 床を仕上げる…1 教室

 セメントと砂と水を合わせて、床の上に薄く塗る。

ケニア共和国マチャコス地方マシंगा県

<キバー区、マシंगा区>

■ 教室建設—2校

◇マクタノヤンディ小学校／

◇カンゲー小学校

1教室目が年内に完成の見込み

■ 教室の構造補修—7校

◇カトゥリエ小学校：6月に1教室目の補修が終了。2教室目は学校からの連絡待ち。

◇トゥワマカー小学校(←土留め壁造り)／

◇カリアニ小学校(←土留め壁造り)：1教室目の補修が年内に終わる見込み。

◇キロニ小学校：1教室目はほぼ完成。体制を整えてから2教室目に取り掛かる。

◇カムルンバ小学校：1教室目の補修が年内に終わる見込み。

◇キアンバニ小学校(←環境活動対象校)：現地資材収集。2016年度に研修を開始。

◇キツネニ小学校：対象校として検討。

■ 教室の基礎保全等のための土留め壁造り—4校

◇トゥワマカー小学校／

◇カリアニ小学校：完成(→構造補修)。

◇キサニ小学校：完成。

◇キヤニ小学校：ほぼ完成。

<エカラカラ区、キリヨコ区>

■ 教室建設—1校

◇ミカメニ小学校(←構造補修対象)：

研修および現地資材の収集がほぼ終了(既存の教室が標準より小さく、教室数が減少することが判明して、2年目の建設対象校に変更。2016年3月以降、作業に取り組む)。

■ 教室の構造補修—4校

◇カリニ小学校／

◇ミアンゲニ小学校：研修終了。1教室目の解体が終わり、作業中。

◇カオニョウエニ小学校(←土留め壁造り)：1教室目の解体が終わり、作業中。

◇キアンゲニ小学校(←土留め壁造り)：研修を実施中。

■ 土留め壁造り—6校

◇イシュコニ小学校：完成。雨期が終わり次第、土を埋め戻す。

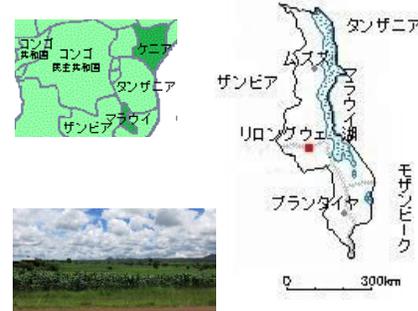
◇キアンゲニ小学校：完成(→構造補修)。

◇カクク小学校：完成。敷地内の水の流れから設置が必要となった、追加の壁の設置と土の埋め戻しの作業中。

◇エカラカラ小学校：研修が終了。

◇カオニョウエニ小学校：完成(→構造補修)

◇クワカインディ小学校：作業中。



2月24日 リロンゲから南にバスで30分くらいのところの幹線道路からの様子。



11月14日 ムチンジ県の中心の町—ザンビアとの国境—の市場。



11月16日 ムチンジ県の第二の町。路上市場の準備風景。



11月16日 ムチンジ県の第二の町。茶屋で朝食。粉ミルクと砂糖に紅茶を注ぐミルクティ。パンは外にある窯で焼いた「焼きたて」。



11月18日 チクワワ県。日干しレンガ(左)と焼成後のレンガを取り出しているところ。



11月18日 ブランタイヤ市。線路横の食堂街で朝食。シマ(製粉した白トウモロコシをお湯で練る)と小魚・オクラ・ナスの煮

## 事務局から

### 報告

#### ◇国内活動

○10月3日・4日、東京・お台場センタープロムナードで開催された、グローバルフェスタ JAPAN 2015 に出展し、パネル等の展示とケニアの物品の販売を行ないました。

○10月3日、グローバルフェスタ JAPAN での展示に合わせて、小冊子『人形芝居—集中講義「ライフスキル」』を発行。

[http://www.cando.or.jp/cando\\_mini\\_booklet\\_lifeskill.pdf](http://www.cando.or.jp/cando_mini_booklet_lifeskill.pdf)

#### 人の動き

○10月6日、代表理事 永岡宏昌がケニア出張から帰国。

○10月21日、調整員 西岡宏之がケニアから一時帰国。

○10月31日、事務局長 久保内祥郎が退職(12月末まで引き継ぎ期間)。

○11月1日から大津祐嗣(おおつ ゆうじ)が事務局長として勤務(12月末まで試用期間)。

○11月7日、調整員 今村純子がケニアから帰国。

○11月7日～17日、大津がケニアに出張。

○11月11日、永岡がマラウイに出張。

○11月18日、調整員 西岡をケニアに再派遣。

○12月9日、永岡がマラウイから帰国。

○12月13日、永岡が、コンゴ民主共和国・コンゴ共和国の調査に出発。

\*「草の根・人間の安全保障無償資金協力(GGP)に係る本邦NGO によるフォローアップ事業」として、外務省と共同で、両国においてGGPにより実施されている事業を訪問し、調査します。2013年1月に行なったタンザニア連邦共和国での調査報告書が外務省のウェブサイトに掲載されています。

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda\\_ngo/taiwa/pdfs\\_2013/ngo25\\_zen\\_06.pdf](http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/shimin/oda_ngo/taiwa/pdfs_2013/ngo25_zen_06.pdf)

■次号は、2016年3月に発行の予定です。

#### CanDo アフリカ [第73号]

2015年12月21日発行/2016年4月21日改訂

発行人: 永岡宏昌

編集人: 佐久間典子

発行: 特定非営利活動法人アフリカ地域開発市民の会 (CanDo)  
〒110-0001 東京都台東区谷中 2-9-14 第2森川ビル B号室

電話/FAX: 03-3822-1041

電子メール: [tokyo@cando.or.jp](mailto:tokyo@cando.or.jp)

ウェブサイト: <http://www.cando.or.jp/>

郵便振替: 口座番号 00150-2-15129 加入者名 アフリカ地域開発市民の会